



飛鳥II

乗る前の
予習に!



飛鳥IIで世界を楽しみ尽くす

2025年 世界一周クルーズ読本





View Point

美しきフランスを航く
セーヌ川クルーズ

「飛鳥II」でめぐる絶景のセーヌ川クルーズ。ブドウ畑の中に家々が点在する様子は、まるで絵画のよう。右舷側にも左舷側にもフランスの美しい田園風景が続いています。

世界一周ならではのビューポイント

洋上から世界的美観を存分に楽しめるのが、「飛鳥II」の世界一周クルーズ

世界一周クルーズの特権は、洋上にいながら、世界の名

高い絶景を楽しむこと。2025年はセーヌ川航行、パナマ運河通航というハイライトがあります。

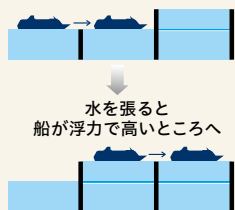
セーヌ川では、右に左に蛇行する川を、「飛鳥II」が変針していく様子が体験できます。牧場で牛が草をはむ牧歌的な風景のあとは、愛らしい小さな家々も。さらに川幅が狭まる中で姿を現すのは、古城や修道院など歴史ある建物、そして時に白鳥などの野鳥の姿。歴史ある街並みと自然美の調和を前にすると、ただただ洋上からその景色に見入ってしまうでしょう。

大西洋と太平洋を結ぶパナマ運河は、人生で一度は通航してみたい場所。標高差がある運河をロック（閘門）を利用して通航する様子は、まるで水のエレベーターに乗っているよう。右舷左舷ともスレスレな中、半日〜1日かけてゆっくりと通航していく様子を眺めれば、パナマ運河が人類最大の偉業とも言われるのも納得です。

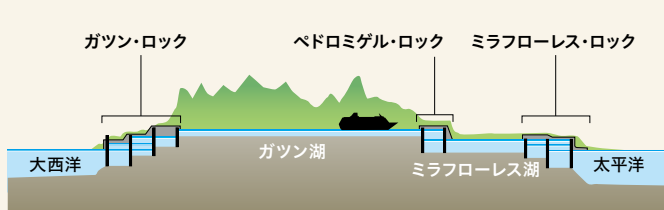
こうした景観はデッキから眺めるもよし、客室やラウンジからでもよし。「飛鳥II」のすぐそばで広がる絶景に、船旅ならではのダイナミズムを感じましょう。



▶ 船を昇降させる仕組み



▶ パナマ運河断面



View Point

人類の英知を感じる
パナマ運河通航

人類が成した偉業と言われるパナマ運河。右舷左舷ともストレスな中、運河をゆっくりと「飛鳥II」が通過する様子はまさに迫力の風景です。大西洋から太平洋へ抜ける稀有な経験を。

船上を彩るスペシャルゲスト



©Kiyotaka Saito (SCOPE)

心にしみわたる
ヴァイオリンの調べ

ヴァイオリニスト

千住 真理子

(神戸～シンガポール 乗船)



洋上で味わう
名店のイタリアン

ラ・ベツトラ・ダ・オチアイ
オーナーシェフ

落合 務

(マサトラン～ホノルル 乗船)



脳と心、
意識を科学する

脳科学者

茂木 健一郎

(ケープタウン～バルセロナ 乗船)

Message

今回の世界一周クルーズは、南回りならではの「サプライズ」と「セレンドイピティ(偶然の幸運)」に満ちています。新しいこととの出会いは、最高の脳のアンチエイジング。海と空を眺めながらゆったりと過ごすことで、脳の記憶や感情の回路が深くやさしくマッサージされます。「飛鳥II」最後の世界一周クルーズは、脳にとって一生忘れられない「一期一会」となるでしょう。ぜひ、ご参加ください!

※乗船区間は変更となる場合がございます。



グエル公園



カタルーニャ音楽堂



サンパウ病院



サグラダファミリア

Barcelona

バルセロナ

一生に一度は見た ガウディの建築群

自然界の造形や、その鮮やかな色彩が多用されたガウディの建築物。完成間近のサグラダファミリアなど、ゴシック建築やイスラム建築を盛り込みつつ独創的に造られた建築物の数々は、バルセロナで必見です。そのほか、旧市街のゴシック地区や、目抜き通りのランブラス通りなど街歩きをお楽しみください。

※バルセロナの各観光施設は事前予約制が導入されているため最新情報をご確認ください。



SPAIN

今、スペインが熱い！

2025年の世界一周クルーズは、テネリフェ島、バルセロナ、ビルバオとスペインの3都市が含まれているのが特徴。人気の観光大国で異なる街の顔が楽しめます。特にテネリフェ島とビルバオは、陸の旅では行く機会が少ない、船ならではの寄港地です。日本から遠くあまり知られていませんが、テネリフェ島は火山と旧市街で知られたスペインの人気

リゾートアイランドです。世界遺産の自然景観と街歩きをお楽しみください。バスク地方の州都であるビルバオはかつて工業都市として栄えていましたが、美食の街としても有名。魅力的なバル（バー）が立ち並び旧市街もあり、新旧どちらの顔も楽しめます。美食の都市としても有名なので、ピンチョス（おつまみ）とワインを目当てにバルめぐりに繰り出しましょう。





Bilbao

ビルバオ



美食の街ビルバオで バルめぐり



ビルバオでぜひ楽しみたいのがバルめぐり。旧市街のヌエバ広場周辺や新市街地のリセンシアダ・ポサ通りなどには魅力的なバルが点在します。立ち飲みで、ワイン一杯とピンチョスを頼んで楽しんでから、次のお店に移動するのが基本です。

ビルバオを起点にプレミアツアーも企画中。バスク地方固有のワインとして古くから親しまれるチャコリのワイナリーを訪れます。ランチはミシュラン一つ星(またはビブルマン)の郷土料理レストランへ。午後にはバスクチーズケーキの生産者を訪問予定です。濃厚な味わいをお楽しみください。

プレミアツアー

チャコリワインとバスク料理(予定)



Tenerife

テネリフェ島



テネリフェ島の 壮大な火山と旧市街

カナリア諸島最大の島、テネリフェ島は、船でこそ行きたい絶景の島。世界遺産にも登録されている火山・テイデ山には壮大な景観が広がります。同じく世界遺産のラ・ラグーナ旧市街は、まるで中世の時代にタイムスリップしたよう。

テネリフェ島では「スペインワインと食協会」がプロデュースするプレミアツアーを企画中。カナリア諸島固有のブドウを使用したテネリフェワインは、独特の製法によるフレッシュな味わいが特徴です。カナリア諸島の伝統を受け継ぐワイナリーへの訪問やレストランでのお食事をお楽しみください。

プレミアツアー

テネリフェ固有ワインと創作料理(予定)





ランドツアー 厳選3コース

南回りこそ面白い! 未知なる アフリカ大陸へ

「飛鳥II」を基点に内陸へも足を延ばせるランドツアーで、あこがれの地を訪れます。長時間のフライトもなく、疲れを軽減。世界をダイナミックに堪能できます。



ザンベジクイーン号リバークルーズとビクトリアフォールズ 6泊7日(レユニオン島発/ケープタウン着)



どこまでも広がるアフリカの大地と空
高級リバークルーズで水上サファリを楽しむ



大自然をゆくアフリカの旅を快適にしてくれるリバークルーズは、旅慣れた欧米の旅行者に人気です。船のお部屋にしながら、手つかずのサバンナの雄大な眺めをご堪能ください。さらに小回りの利くボートに乗り換え、水辺に集まる野生動物を間近に見ることも。

水上サファリとあわせてサファリドライブも楽しめる行程としました。ビクトリアフォールズでは、ご希望の方にヘリコプターでの遊覧もお楽しみいただけます(別料金)。

ビクトリアフォールズ 3泊4日(ケープタウン発/ウォルビスベイ着)

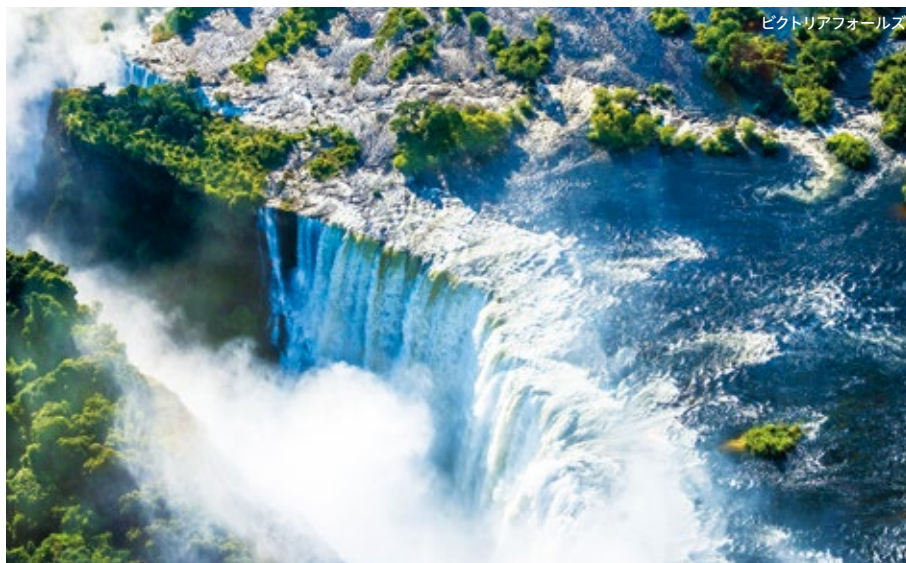
Land
Tour
ランドツアー

水量豊富な時期に訪れるビクトリアフォールズと 乾季のチョベ国立公園



イメージ

世界三大瀑布の一つ、ビクトリアフォールズは、4～6月が水量豊富なベストシーズン。轟音とともに水煙上がる大迫力の瀑布をご堪能ください。乾季にあたるボツワナのチョベ国立公園は野生動物が活動的になる時期。サファリドライブではゾウやヒョウ、サイ、スイギュウなど、アフリカで人気の野生動物との遭遇のチャンスが期待できます。ケープタウンからビクトリアフォールズまで「飛鳥II」のお客様専用のチャーター機をご用意。コンパクトな日程で冒険の旅がかないます。



ビクトリアフォールズ



イメージ

マラケシュ・モロッコ 4泊5日(テネリフェ島発/バルセロナ着)

Land
Tour
ランドツアー

異国迷宮彷徨



イメージ

さまざまな文化が融合し、異国情緒あふれるモロッコ。中でもかつての帝都マラケシュには、中世の面影を残すメディナ(旧市街)が広がります。スーク(市場)の複雑に入り組んだ通路はまるで迷宮のよう。モロッコ風のランプや香辛料、アルガンオイル、バブーシュ(モロッコ伝統のスリッパ)などの露店が並び、朝晩には礼拝の時報を知らせる「アザーン」が聞こえます。マラケシュには2連泊の行程。朝から夜までお楽しみください。



●その他のランドツアーもご用意

さらに北極圏まで網羅 地球を縦断する大冒険

アイスランド・グリーンランド
9泊10日(ティルベリー発/ボストン着)

灼熱のアフリカ大陸から一転、ティルベリー発のランドツアーでは、北極圏のグリーンランドへ。世界遺産イルリサットアイスフィヨルドでは地球の壮大さを感じる氷山・氷河を間近に。アイスランドでは地球の割れ目といわれるギャウなどを訪れ、大自然のエネルギーを体感できます。

イルリサット氷河



世界を旅して極上のお酒に出会う

Cidre ● シードル(フランス)



イメージ

主にりんごを原料とした醸造酒で、寄港地ルーアンのは、味も香りも格段に美味しいと評判。記念の一本をぜひ見つけましょう。

Wine ● ワイン



イメージ

ワイン好きの方はぜひワインをテーマに各寄港地をめぐるみましょう。ワイナリーをめぐる寄港地観光ツアーも設定、手軽に訪れられます。

寄港地にはワインを筆頭に、ラムやシードルなどお酒の名産地がずらりと並びます。ケープタウン、バルセロナ、ビルバオ、そしてサンフランシスコなど、世界各地のワイナリーでは飲み比べを。高いところから注ぐのが珍しいビルバオの微発泡ワイン、チャコリもぜひ。

Rum ● ラム(バハマ)



イメージ

カリブ海の島国バハマは、小国ながらバカルディなど有名なラムの産地。ラムの飲み比べを楽しめる船内イベントも開催予定です。



イメージ

Premier Tour プレミアツアー

ミシュラン星付きレストランのランチと極上シードル農家へ



イメージ

グルメツアーでおなじみのガイド森本育子さんに、ミシュランの星を獲得したレストランでのランチ後、シードル農家へご案内いただくツアーを計画中です。



森本育子

旅行会社勤務、海外旅行の添乗員を経て渡仏。2014年に「アルザスワイン街道」のガイドブックを出版。フランス政府公認ガイド。

アートでめぐる世界一周

アート好きの方は美術館をテーマに世界をめぐるってみませんか。美術館を訪れる寄港地観光ツアーもあり、多くの名作をお楽しみいただけます。

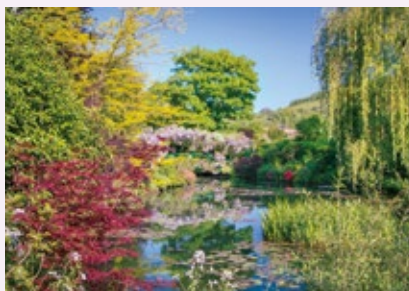
グッゲンハイム美術館(ビルバオ)



© photomatsu55 / PIXTA

チタンで造られた外観が目をはきくグッゲンハイム美術館。建築家のフランク・ゲーリーが設計した名建築の中に、近現代の作品が並びます。

モネの家と庭園(ルーアン)



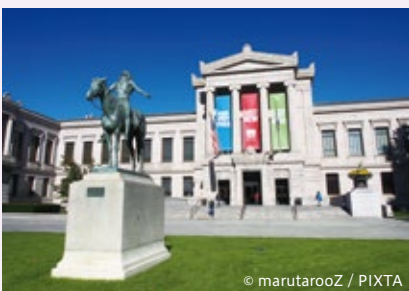
あの有名なモネの作品の舞台となった庭へは寄港地観光ツアーで訪れます。絵の世界が目の前に出現する不思議な感覚を味わってみてください。

ナショナルギャラリー(ティルベリーより)



レオナルド・ダ・ヴィンチの「岩窟の聖母」、ゴッホの「ひまわり」などを所蔵する名美術館。ガイドを聞きながら効率よくめぐりましょう。

ボストン美術館(ボストン)



© marutarooZ / PIXTA

アメリカを代表する美術館で、「美の殿堂」との異名を持ち世界屈指の所蔵作品数を誇ります。日本美術の至宝も数多く揃うことで有名。

メトロポリタン美術館(ニューヨーク)



世界屈指の収蔵品で知られ、古今東西、49万点以上にもわたる芸術作品を所蔵しています。しかも私立の美術館だというから驚き！

ビショップミュージアム(ホノルル)



ポリネシア文化に関するコレクションを多数展示、ハワイの秘宝が見られるほか、独自の歴史を学べます。昆虫の展示が多いのも特徴。

大自然の絶景に多彩な文化 船で感じる世界の広さ

世界一周クルーズの魅力は、「飛鳥II」船内にいながらして世界の景観や文化が味わえること。
103日の航海の間、洋上から見る港の景色や自然現象、
さらに世界の多彩な文化を感じられる船内イベントを楽しむことができます。



世界の洋上で感じる大自然の偉大さ

世界一周クルーズでは、日本ではめったに観ることができない自然観察も楽しみのひとつ。日の出直後や、日の入り直前に太陽の光が緑色に輝く「グリーンフラッシュ」が見られることも。星空教室も開かれ、日本ではほとんど見られない南十字星をご覧いただけるチャンスも。



ホノルル

客室やデッキにしながら世界の絶景を堪能

目が覚めれば、そこは未知の寄港地。世界一周クルーズではデッキやラウンジ、そして客室にしながらして世界の景観が近づいてきます。青い海が美しいホノルル、ニューヨークの自由の女神や摩天楼など、世界の絶景を船上から楽しめます。



寄港地の文化を船内で！ローカルショー

世界一周クルーズ中、ギャラクシーラウンジでは寄港地にちなんださまざまなショーが開催されます。迫力あるショーを眼前で楽しめるのも「飛鳥II」ならではの、各寄港地の文化の違いを感じられます。



開放感あふれるデッキディナーは地域色も満点

赤道通過祭やハワイアンナイトなど、時にデッキでも地域や寄港地にちなんだパーティーを開催。日暮れどきの空のグラデーションと、さわやかな海風を感じながら、デッキディナーをお楽しみください。

船で世界をめぐる醍醐味のひとつが、洋上にいながらにして景観や文化が近づいてきてくれること。寄港地が近づくに自然にパームコートやプールデッキは賑わいが増し、お客様同士の会話も弾みます。

船上で寄港地にちなんだローカルショーやデッキディナーが開催されるのも、世界一周クルーズの楽しみのひとつ。混雑とは無縁の中、世界の文化を五感で体験いただけます。演者の解説を聞いたり、また直接話したりする機会も少なくありません。



ハワイの優しい風を感じながら
楽しみましょう

元「飛鳥II」クルーズディレクター
ボブ田中
〈マサラン〜ホノルル 乗船〉

思い出がたくさんつまった「飛鳥II」での最後の世界一周クルーズ。アロハスピリットでおもてないたします。一緒に楽しみましょう！

※乗船区間は変更となる場合がございます。

2025年も楽しみたい!

世界一周クルーズ
船内イベント

●赤道通過祭

赤道を通過する際に、海神ネプチューンに通行許可をもらうユニークな寸劇を披露。古くからの船の習わしです。



●ブリッジ(操舵室)オープン

ブリッジが公開される日も。普段は見られない操舵室に入れる特別な日で、お客様もウキウキ。



●世界一周スペシャルクイズ

世界一周クルーズ終盤に行われるクイズ大会。航海にちなんだクイズも出題されます。優勝した方には豪華賞品も。

2025年
世界一周クルーズでも
本格和菓子を
船内で

イメージ



2024年の世界一周クルーズに乗船し、船内で和菓子を提供してくれた「松右衛門」阿部真さんが2025年も乗船予定。日本から遠く離れた異国でも、本格和菓子をお召し上がりいただけます。寄港地で仕入れたフルーツを使った珍しいフルーツ大福も登場予定。日本の味と世界の味、ともにスイーツでもご堪能ください。

くつろげる空間に安心のサービス
ホッとできる洋上の「わが家」

「飛鳥II」の世界一周クルーズでは、日本船ならではの和のおもてなしをご提供いたします。わが家のような心地よさで、世界をめぐる。



端午の節句など季節のイベントも催され、その日、その季節にちなんだ料理がお楽しみいただけます。

世界のどこでも味わえる
日本食がうれしい

海外を旅しながら本格的な和食をご堪能いただけるのは、日本客船だからこそうれしいポイント。クルーズ中は和食を中心にフレンチ、イタリアン、中華など多彩な食をお楽しみいただけます。

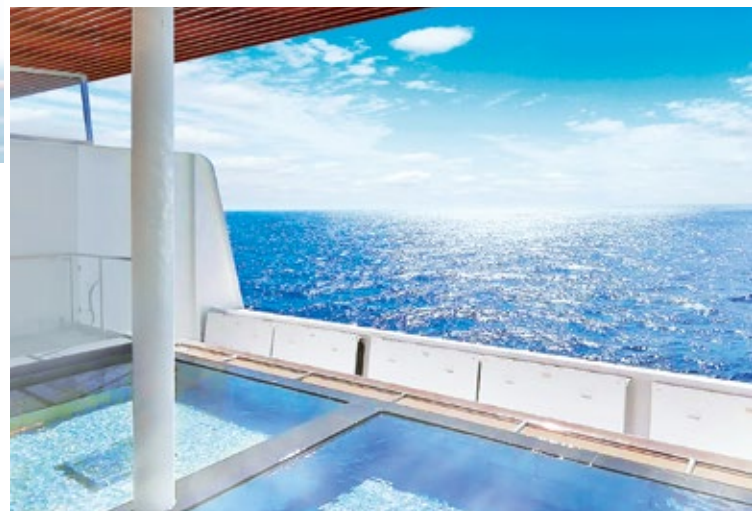
「一芸を極める」クルーズライフを

ゆったりした洋上での生活は、ひとつの目標を決めるのにちょうどいい機会です。例えばコーラスを楽しむイベントでは、クルーズの終盤に発表会も開催されます。そのほか手芸など、人生の記念になる大作に取り組む方々も。

ヨガ(イメージ)

長い航海だからこそ
リラックスできる時間を

「飛鳥II」では航海中、日々ヨガやストレッチなど、体をほぐす各種プログラムを設けています。フィットネスセンターには各種トレーニングマシンのほか、血圧計などもあり、健康管理が可能。そして日々の疲れは大海原に面した露天風呂でゆったりとリフレッシュを。





世界一周クルーズを快適に過ごすためのQ & A

Q 初めての参加でも楽しめる？

A 2024年世界一周クルーズは4分の1が「初めてのクルーズが世界一周クルーズ」というお客様でした。船内では、「お客様同士の交流の場」として様々な催しを予定しておりますので、初めてでもお一人様でも安心してご乗船いただけます。充実した世界一周クルーズとなりますよう、乗組員がサポートいたします。

Q 英語が話せないけれど、大丈夫？

A 船内の公用語は日本語です。「飛鳥II」には、外国人乗組員もたくさんいますが、日本語での基本的な日常会話はできますので、どうぞご安心ください。何かお困りごとがありましたら、レセプションでは24時間日本人スタッフが常駐していますのでお気軽にお立ち寄りください。



Q 寄港地観光ツアーの詳細、料金はどのくらい？

A 寄港地観光ツアーは、ご予約の方向けの事前説明会で、詳細が記載された冊子をお渡しします。健脚度に応じて、半日観光から1日観光、また船を一度離れて、船では行けない内陸観光へご案内するランドツアーなどを予定しています。ご予算、ご希望のコースに応じて乗船前にお申し込みください(事前予約・定員制)。定員に空きのあるものは随時お申し込みを承ります。

Q 長期間のクルーズ、特に船内生活が不安です。

A 船内では、早朝から夜遅くまでさまざまな催しものが用意されています。前日に客室に届く、船内新聞「アスカデイリー」には、コンサートや各種イベント、講演会、映画など一日の船内プログラムが記載されています。アクティブに参加するもよし、また客室やデッキでのんびりと過ごすこともできます。ご乗船前には、ご乗船の方向けに船内生活に関する説明会や実際にご利用いただく客室タイプをご覧いただける見学会も行います。

Q 103日間もフルコースが続きますか？

A 朝食と昼食はフォーシーズン・ダイニングルームで和定食、リドカフェ&リドガーデンでは、ビュッフェをご提供します。夕食は、世界一周クルーズでは和食を中心に用意いたします。各国料理からフランス料理のフルコースまで、お食事はバラエティー豊か。「飛鳥II」での「食」を存分にお楽しみください。



ツアー担当者が魅力をお伝えします 寄港地観光ツアー説明会

各寄港地でお楽しみいただける寄港地観光ツアーの魅力がたっぷりとお伝えいたします。質疑応答のコーナーも設けますので、お客様の気になること、不安な点をご相談いただく機会としてご活用ください。

2025年世界一周クルーズをお申し込みの方を対象に10月下旬～11月中旬に、福岡、大阪、東京にて開催予定です。

快適に過ごすためのコツを「飛鳥II」船内でご説明します 船内生活説明会

103日間の長いクルーズになりますので、船内で快適に過ごすためのコツや注意事項など、担当者が詳しくご説明いたします。

質疑応答のコーナーも設けますので、お客様の気になること、不安な点もご相談いただけます。また、お申し込みいただきました客室と同客室タイプのお部屋と船内の公共施設も合わせてご案内いたしますので、お部屋の収納スペースの確認等にもご活用ください。

2025年世界一周クルーズをお申し込みの方を対象に12月中旬以降、横浜、神戸に停泊中の「飛鳥II」船内にて開催予定です。

「飛鳥II」歴代3船長が乗船。トークショーも開催

「飛鳥II」就航から数えて初代、第2代、第3代を務めた船長がそろって乗船*。
世界一周クルーズにまつわる思い出や裏話をご紹介します。
久しぶりにお会いする方も、初めましての方も、どうぞお楽しみに。



飛鳥クルーズ 第6代船長
小田 武

Profile 1992年に探検クルーズ船「フロンティア・スピリット」で北極や南極等の秘境クルーズに従事。1993年～2002年の約10年間「クリスタル・ハーモニー（現 飛鳥II）」、「クリスタル・シンフォニー」で副船長として国際航路を経験後、2003年6月より初代「飛鳥」の6代目船長として乗船。「飛鳥II」デビュー時の2006年2月から、2008年2月まで「飛鳥II」初代船長を務めた。



飛鳥クルーズ 第7代船長
末永 守

Profile 学生時代はカッター（ボート）部所属のかたわら、ワンダーフォーゲル同好会で登山に動じた。船乗りになってからは、貨物船、タンカー、コンテナ船などに乗った後、1990年より客船の世界へ。「クイーン・エリザベス2」を皮切りに「クリスタル・ハーモニー（現 飛鳥II）」「飛鳥II」に乗船。2005年初代「飛鳥」船長に。2006年から2010年まで「飛鳥II」の船長を務めた。



飛鳥クルーズ 第8代船長
中村大輔

Profile 1987年～1992年までの5年間、企画部および客船事業部にて「クリスタル・ハーモニー（現 飛鳥II）」、および、探検客船「フロンティア・スピリット」、初代「飛鳥」の各客船プロジェクト立ち上げ業務に参画。1997年コンテナ船、LNG船の船長を経て、2008年2月「飛鳥II」船長に就任、2015年9月まで船長を務めた。郵船クルーズ（株）にて常務・専務を経て現アスカクラブ会長。

●トークショー

「歴代3船長が語る 飛鳥II 世界一周クルーズ」

「飛鳥II」歴代3船長がそろい踏み。これまで「飛鳥II」で世界一周クルーズを何度か行ってきた船長ならではの思い出話や裏話をご紹介します。「飛鳥II」の世界一周クルーズの歴史を振り返ります。

※歴代キャプテンはホノルル～横浜区間で乗船予定です。船長業務は行いません。
体調その他の理由により、予告なく乗船中止となる場合があります。掲載写真は当時のものです。



Column

飛鳥IIとともに過ごす人生 ともに世界をめぐるましよう

飛鳥クルーズ第8代船長/アスカクラブ会長
中村大輔

小さな頃から神戸港に入ってくる外国の客船を見ながら「なぜ日本には豪華客船がないのだろう」とため息をついていたのは50数年前。

めぐりあわせの幸運で社会人になって世界一の客船を造るプロジェクトに参画できたのが35年前でした。

世界中の客船のデッキプランが頭に入っていましたので、プロムナードは全周仕様に、レストランは一番揺れの少ない下部デッキに、ブリッジの上には流行りのオブザベーション・ラウンジを、客室のベッドは寝やすいように「船なり」に配置するなど、ここには書ききれないアイデアを形にしました。こうしてデッキプランも内装・外装も良くできた船だと自信を持って世界で紹介できる客船「クリスタル・ハーモニー」ができたのです。

時代を経て、「クリスタル・ハーモニー」が日本船の「飛鳥II」となり、この船の船長に任命され、この船とともに過ごしてきた人生ですが、世界中で環境規制が厳しくなってきた昨今、新造客船「飛鳥III」で世界の寄港地をめぐる時代となってまいりました。

今後も「飛鳥II」は国内クルーズを中心に活躍してまいります。今一度、世界各国を「彼女」と一緒に、贅沢なチーク材が敷き詰められた遊歩甲板を歩いて世界をめぐるましよう。